

2022年1月24日
記者発表資料
下水道部水再生センター担当課長 布施
電話 044-988-7101

【環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」】 鶴見川クリーンセンターで 町田市バイオエネルギーセンターで発電した電力の利用を開始

下水処理場から排出されるCO₂を削減するため、町田市バイオエネルギーセンター（以下「MBEC」）で発電したCO₂排出係数*が低い電力を2022年4月1日から鶴見川クリーンセンターで利用を開始します。

*CO₂排出係数：電力を作り出す際にどれだけのCO₂を排出したかを示す係数

【MBEC 発電電力の利用効果】

■ CO₂ 排出量削減

MBECの電力は、廃棄物（ごみ）をエネルギー源とするため、現在契約している電力会社と比較してCO₂排出係数が約4割低くなります。年間約1,400tのCO₂排出量削減が可能です。



CO₂削減量は杉10万本程度の年間吸収量に相当します。

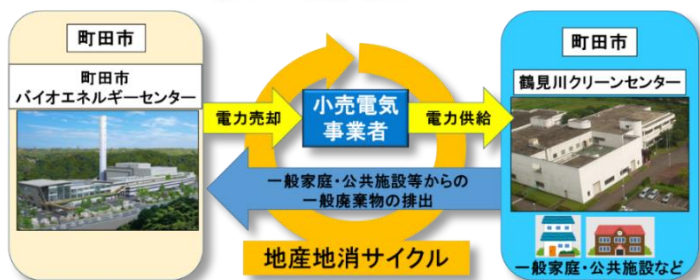
■ コストダウン

現在契約している電力会社から購入する場合に比べて、電気料金は年間約900万円のコストダウンが可能です。

■ 電力の地産地消

MBECの余剰電力を鶴見川クリーンセンターで利用することで電力の地産地消を実現します。これにより、町田市の再生可能エネルギー導入量の増加やCO₂排出量削減対策が可能となり、地域における持続可能な循環型社会の構築に大きく寄与します。

電力の地産地消スキーム



MBEC発電電力の利用割合

